

統計から見る長野県観光の現況

平成28年11月

長野県観光部山岳高原観光課

しあわせ  信州

目 次

➤目次..... 1

全国の観光動向

➤ 宿泊旅行の現状..... 2
➤ 観光消費額の現状..... 3
➤ 訪日外国人旅行者数..... 4

長野県観光の姿

➤ 観光旅行者の推移..... 5
➤ スキー場利用者の推移..... 6
➤ 外国人宿泊者数の推移..... 7

全国における長野県のポジション

➤ 観光旅行者数(宿泊者数)..... 8
➤ 観光消費額..... 9
➤ 宿泊施設数..... 10

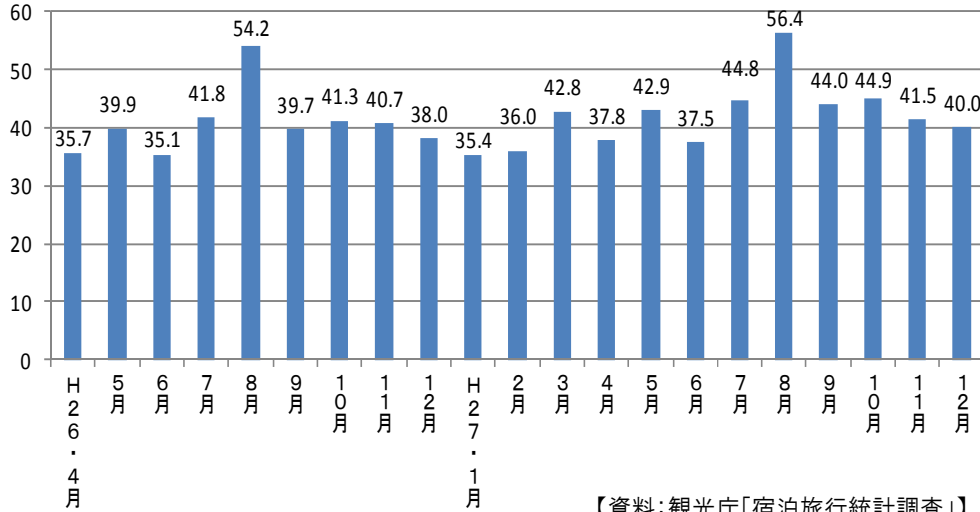


全国の観光動向

宿泊旅行の現状

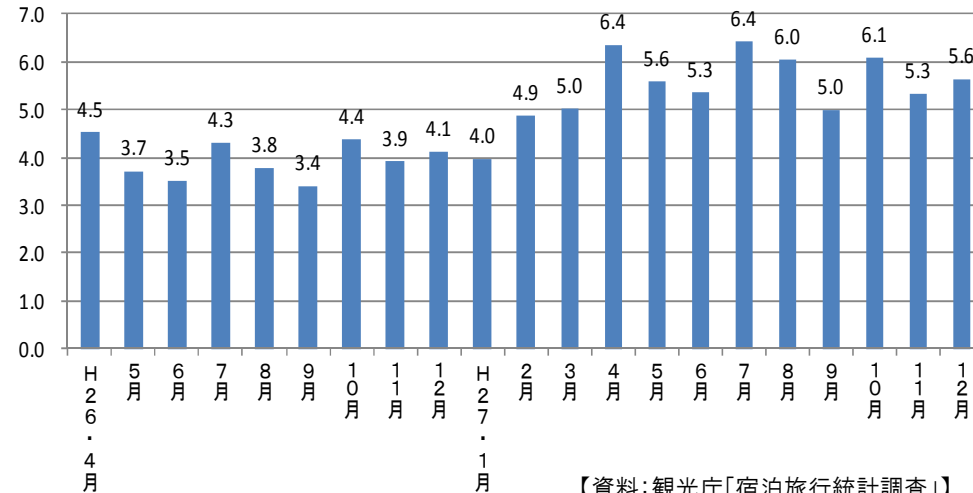
■ 月別延宿泊者数の推移 (平成26年4月～平成27年12月)

(単位:百万人) ※外国人含む

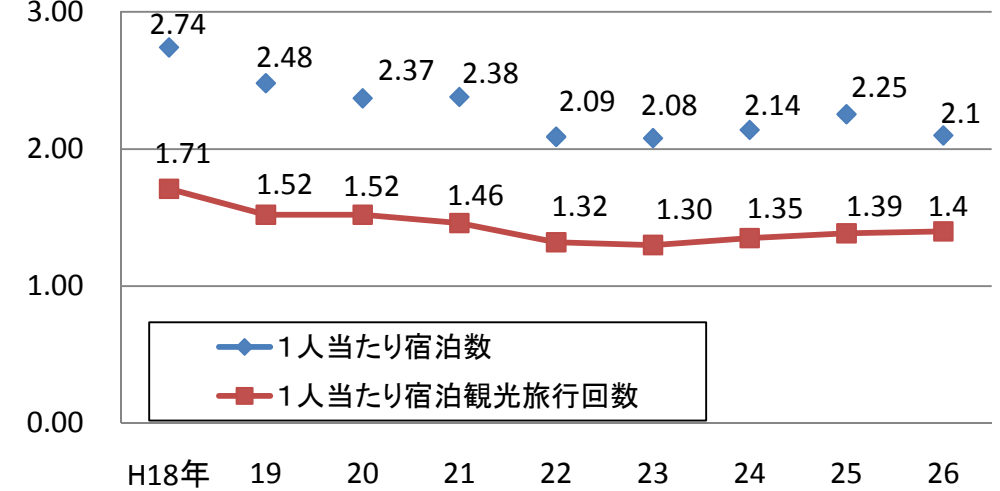


■ 月別外国人延宿泊者数の推移 (平成26年4月～平成27年12月)

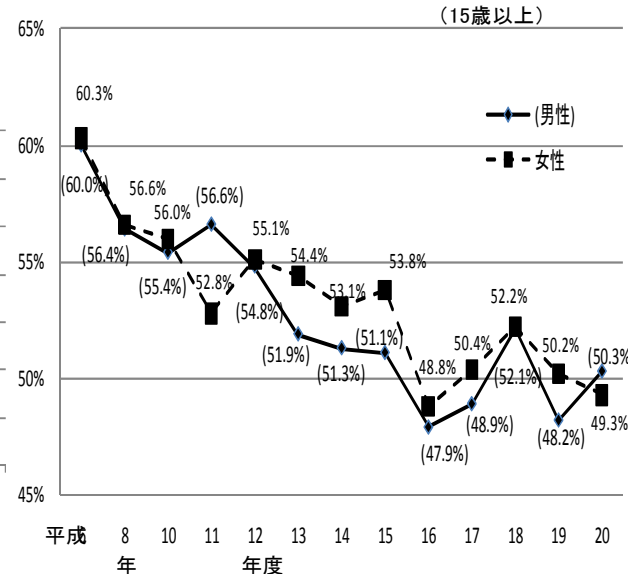
(単位:百万人) ※延宿泊者数の内数



■ 国内宿泊観光旅行の動向



■ 宿泊観光旅行の参加率 (15歳以上)



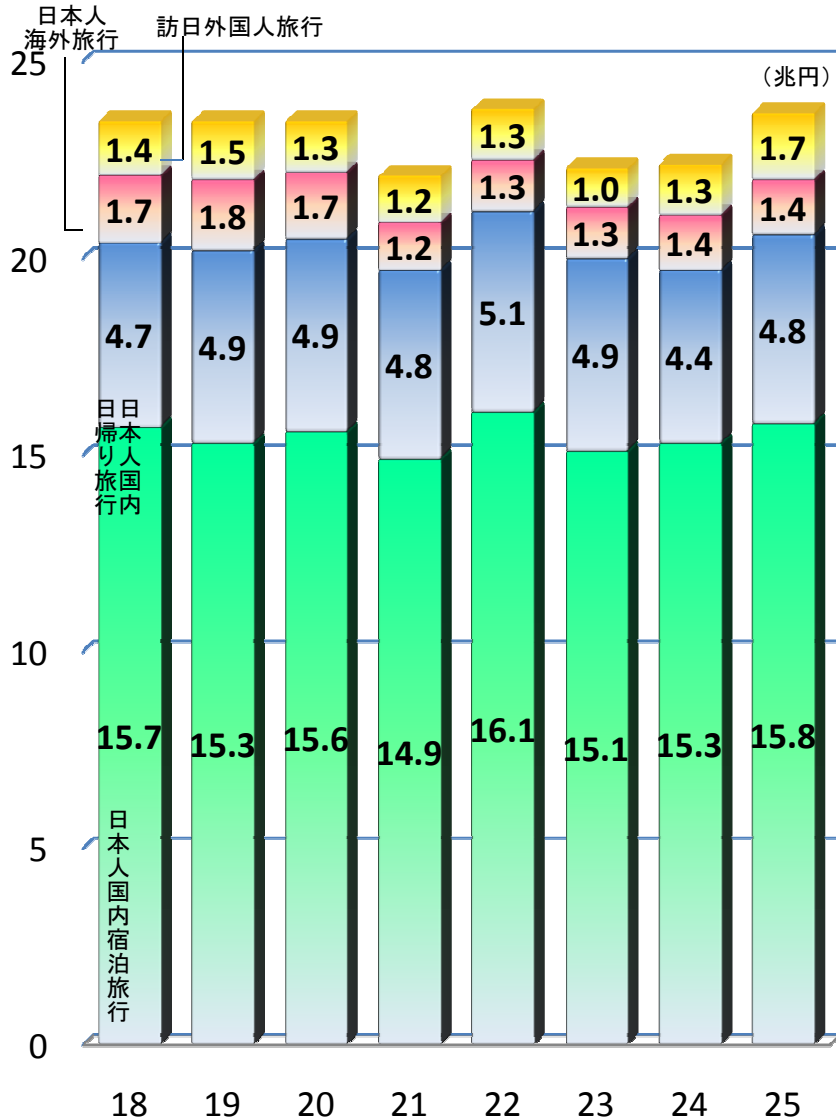
■ 宿泊観光を実施しなかった理由

	H4	H15	H20
時間的余裕がない	38.0	44.4	38.6
経済的余裕がない	18.7	26.7	28.9
なんとなくしないまま過ぎた	19.8	20.8	18.9
家を離れられない事情があった	18.3	17.0	18.3
健康上の理由で	12.3	13.9	14.6
出張等で観光もしたから	7.1	5.6	6.9
他にやりたいことがある	4.4	5.4	5.2
計画や準備が面倒	3.6	3.8	3.9
一緒に行く人がいない	2.7	3.8	3.8
行きたいと思うところがない	3.3	4.9	4.6
旅行は嫌いだから	3.9	3.2	2.6
海外旅行の方をしたい	0.6	2.5	2.2
その他	7.0	7.8	9.0

【資料:日本観光協会「観光の実態と志向(第28回)」'10(平22)年2月】

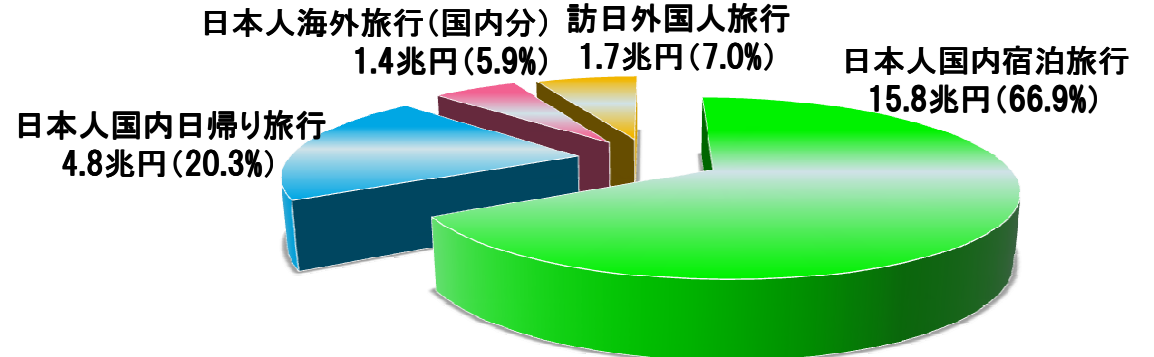
観光消費額の現状

■国内旅行消費額の推移(平成15年～平成25年)



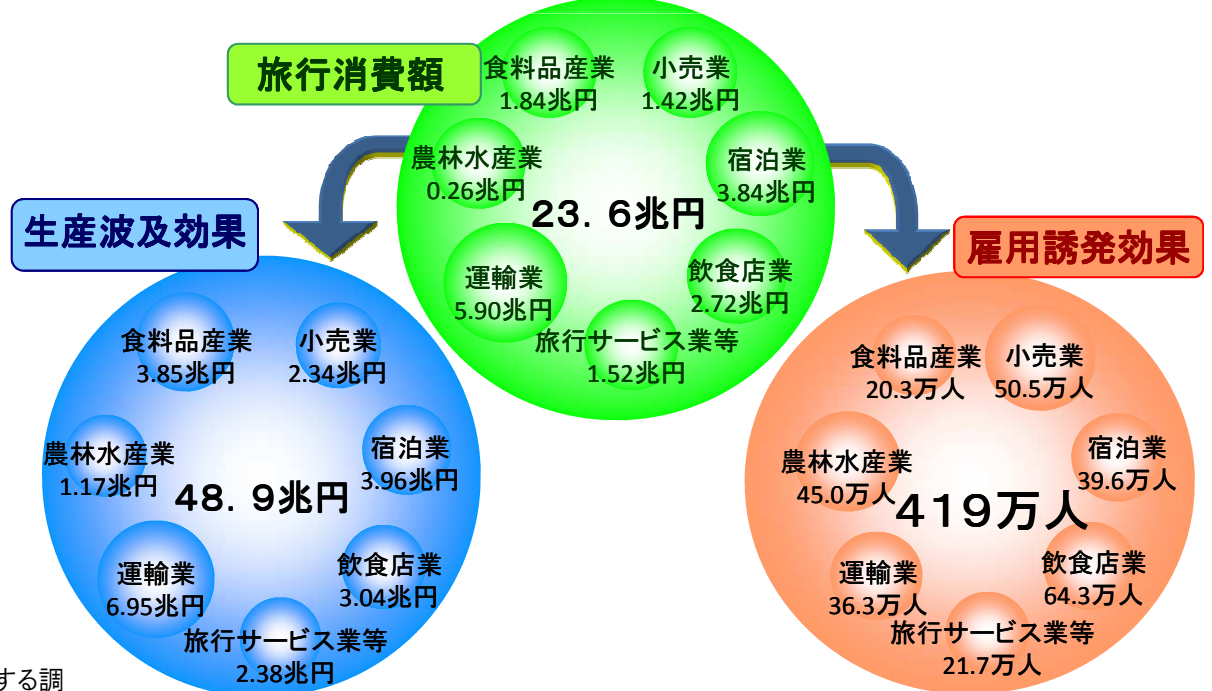
■国内旅行消費額の内訳

平成25年度 23.6兆円



【資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」、「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」より観光部作成】

■観光の経済効果

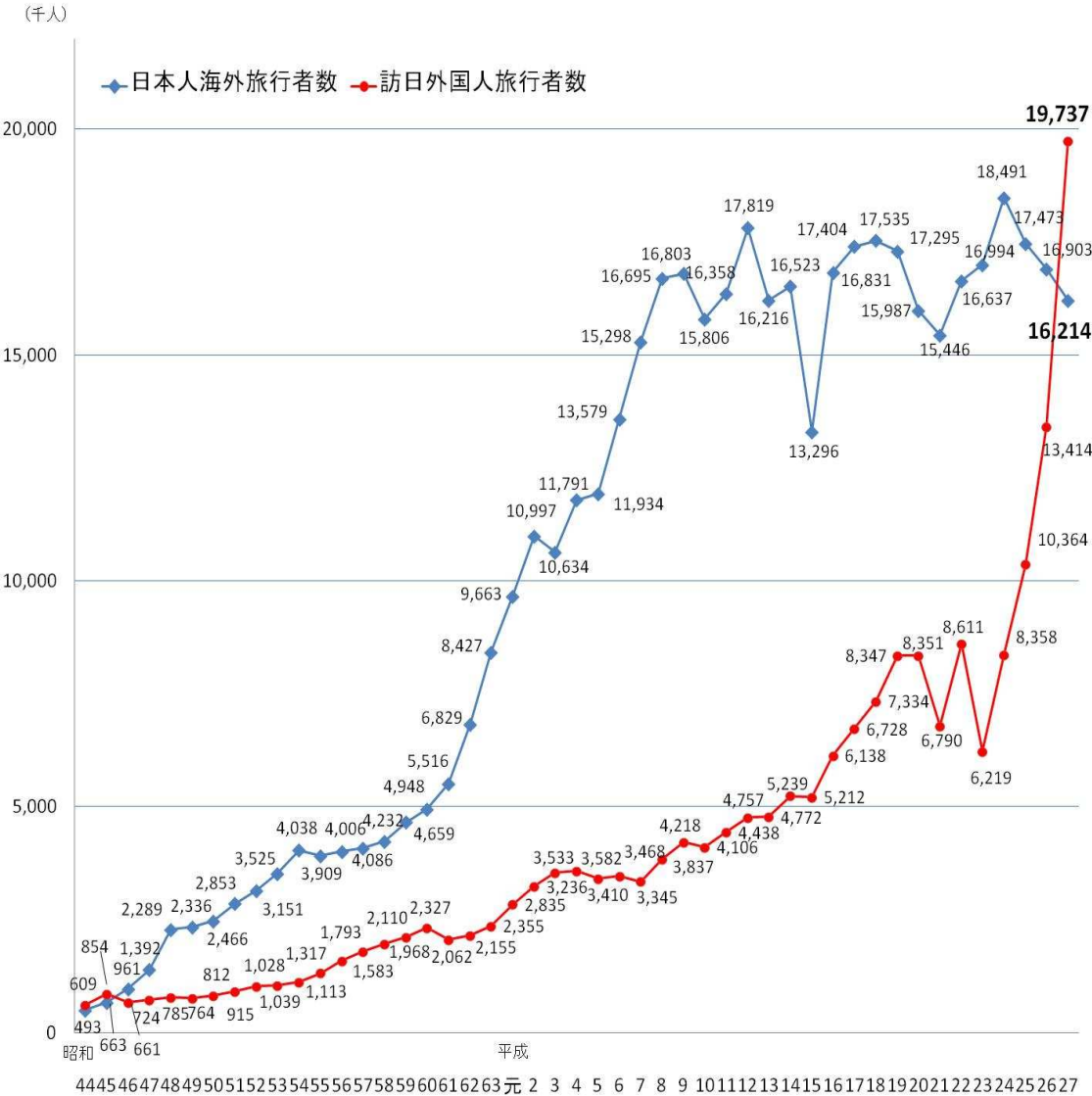


【資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」、「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究(2013年版)」より観光部作成】

【資料:観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」による】

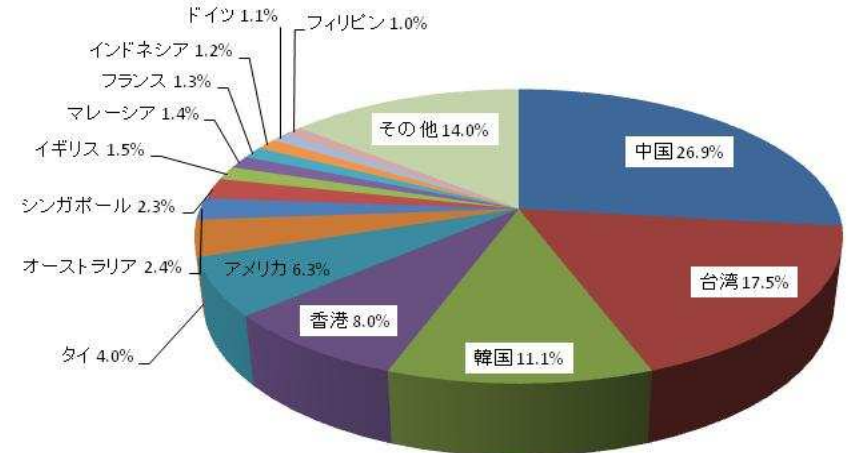
訪日外国人旅行者数

■日本人海外旅行者数及び訪日外国人旅行者数



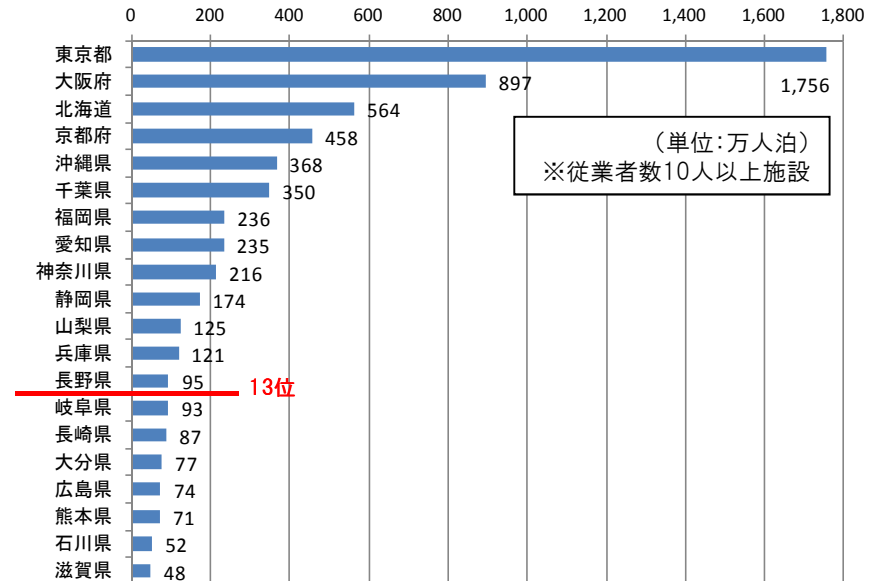
【資料：法務省「出入国管理統計」及び(独)国際観光推進機構(JNTO)「訪日外客数の動向」】

国籍別外国人延べ宿泊者数(平成27年1月～12月)



【資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」】

都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成27年1月～12月)

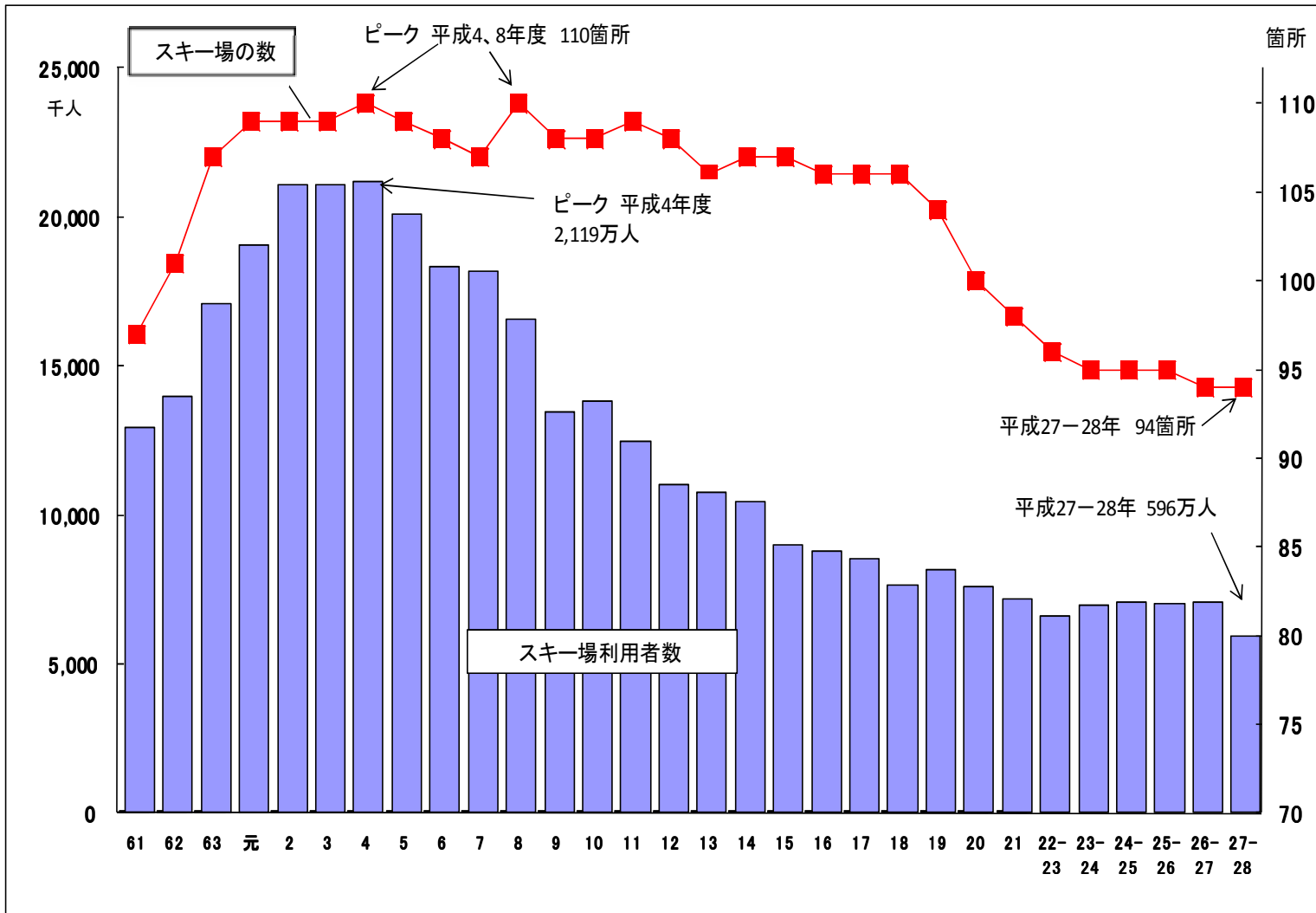


資料：【観光庁「宿泊旅行統計調査」】

スキー場利用者の推移

スキー・スケート場利用者統計調査(長野県)

■スキー場利用者数とスキー場数の推移

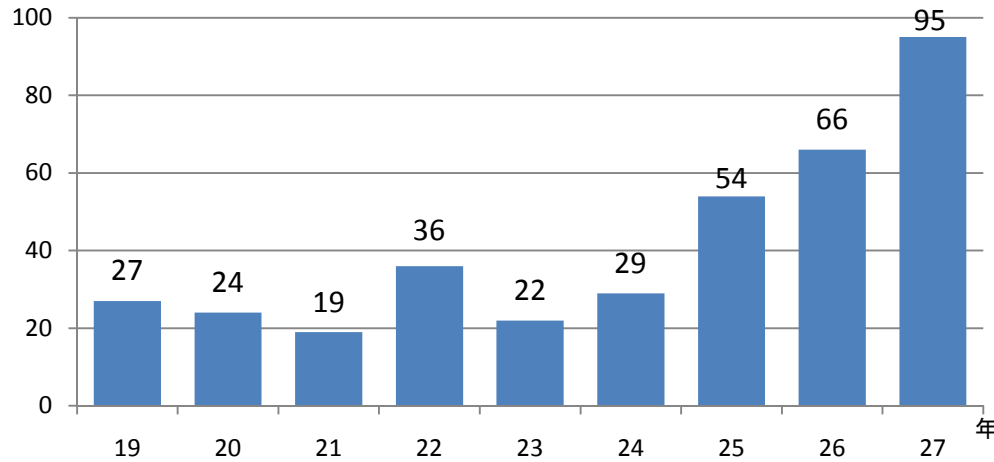


- スキー場利用者数は平成4年度をピークに急激に減少、平成27-28年は596万人でピーク時の3割程度に落ち込んでいる。
- 平成27-28年シーズンは、雪不足により前シーズンより15.9%減少した。
- スキー場数については、平成18年以降減少傾向が続き、平成27-28年は94箇所(休止含む)となっている。

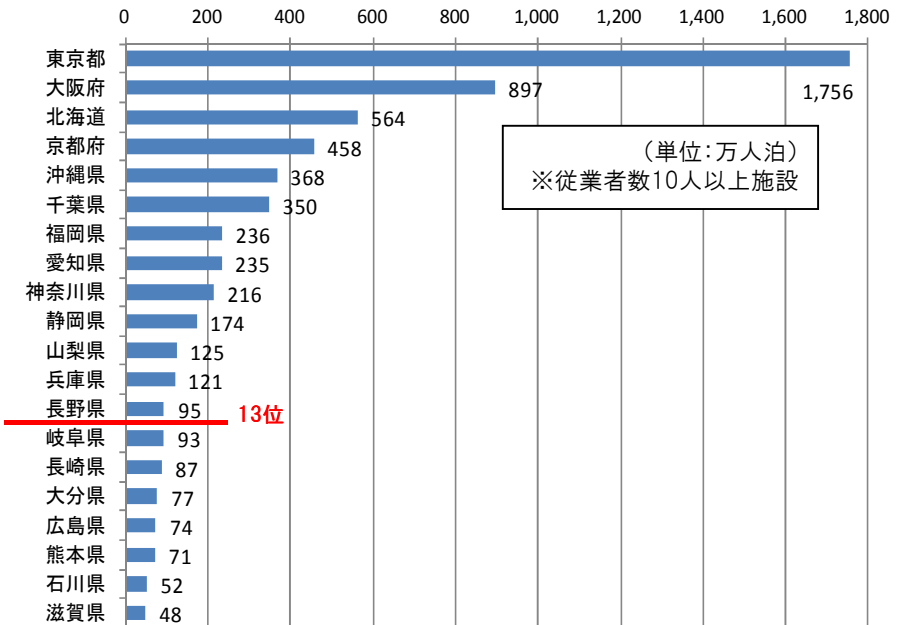
外国人宿泊者数の推移

外国人宿泊者数(観光庁「宿泊旅行統計」)

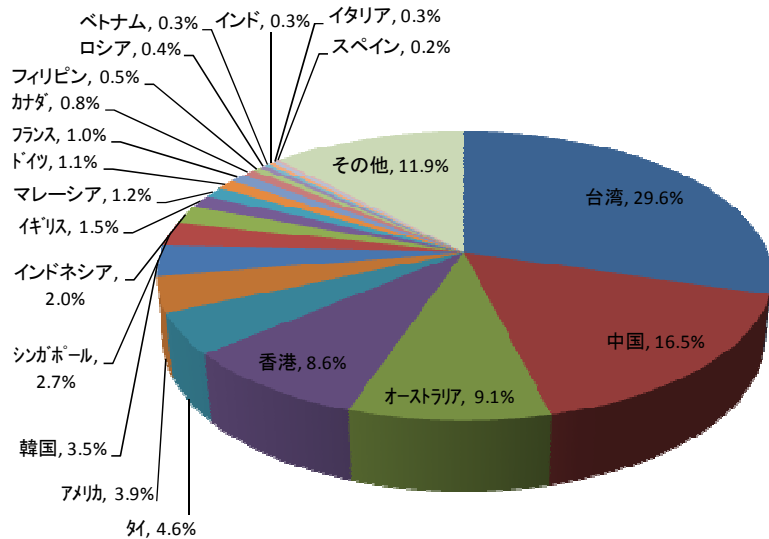
■長野県における外国人宿泊者数の推移



■都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成27年1月～12月)



■国・地域別外国人延宿泊者数割合(平成27年1月～12月)



- 本県における外国人宿泊者数は、平成25年から急増している。
(平成21年は「新型インフルエンザ」、平成23年は「東日本大震災」)
- 平成27年は統計がある平成19年以降、過去最高となった。
- 国別には、台湾、オーストラリア、中国、香港からの旅行者が多く、韓国からの旅行者は全国に比べ少ない。
- 最新の統計値では、全国平均の増加率を上回っている。

観光旅行者数(宿泊者数)

宿泊旅行統計調査(観光庁)

■延宿泊者数(H27確報値)

(万人)

1位	東京都	5,909
2位	北海道	3,259
3位	大阪府	3,037
4位	千葉県	2,257
5位	静岡県	2,253
6位	沖縄県	2,006
7位	長野県	1,921
8位	神奈川県	1,907
9位	京都府	1,826
10位	愛知県	1,662
11位	福岡県	1,614
12位	兵庫県	1,416
13位	福島県	1,147
14位	宮城県	1,082
15位	栃木県	1,029

※観光目的以外の宿泊者含む

■実宿泊者数(H27確報値)

(万人)

1位	東京都	3,974
2位	北海道	2,449
3位	大阪府	2,104
4位	静岡県	1,811
5位	千葉県	1,748
6位	神奈川県	1,484
7位	長野県	1,441
8位	愛知県	1,275
9位	福岡県	1,265
10位	京都府	1,237
11位	沖縄県	1,160
12位	兵庫県	1,127
13位	栃木県	813
14位	福島県	804
15位	宮城県	800

※観光目的以外の宿泊者含む

じゃらん宿泊旅行調査2015

(株)じゃらんリサーチセンター

■延宿泊旅行者数

上位15位ランキング

(万人)

1位	東京都	1,702
2位	北海道	1,064
3位	静岡県	770
4位	神奈川県	768
5位	大阪府	749
6位	長野県	720
7位	京都府	704
8位	千葉県	598
9位	福岡県	517
10位	沖縄県	515
11位	兵庫県	499
12位	愛知県	392
13位	群馬県	377
14位	三重県	365
15位	栃木県	361

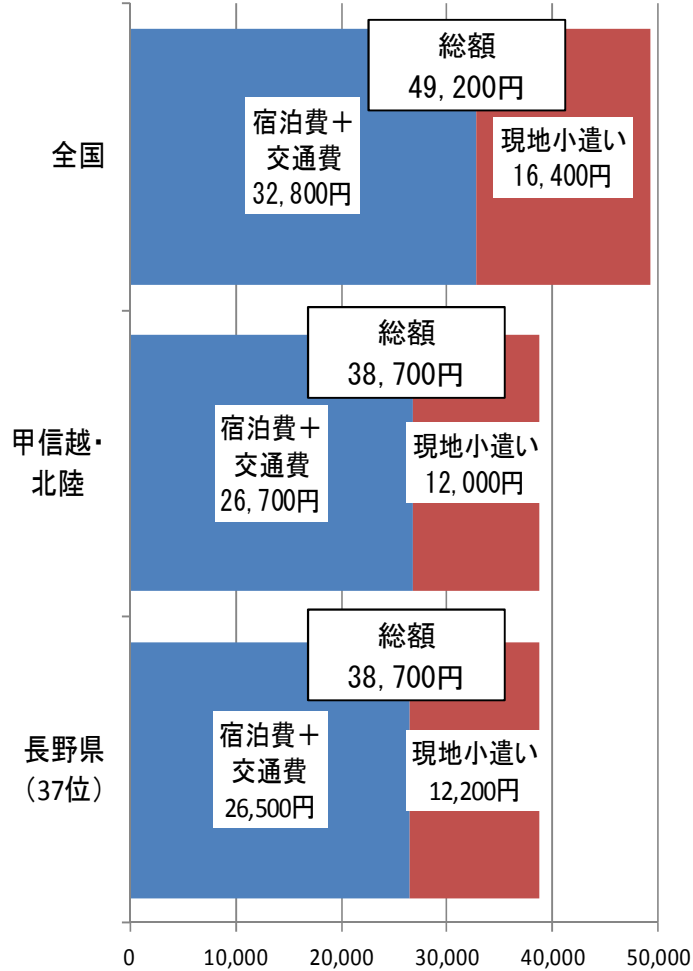
➤ 宿泊旅行者数は、ビジネス目的等を含む観光庁宿泊旅行統計調査では7位、観光旅行に限定した民間調査では、6位と上位に位置している。

➤ どの調査においても、東京都、北海道、大阪府、静岡県、神奈川県などが上位に位置している。

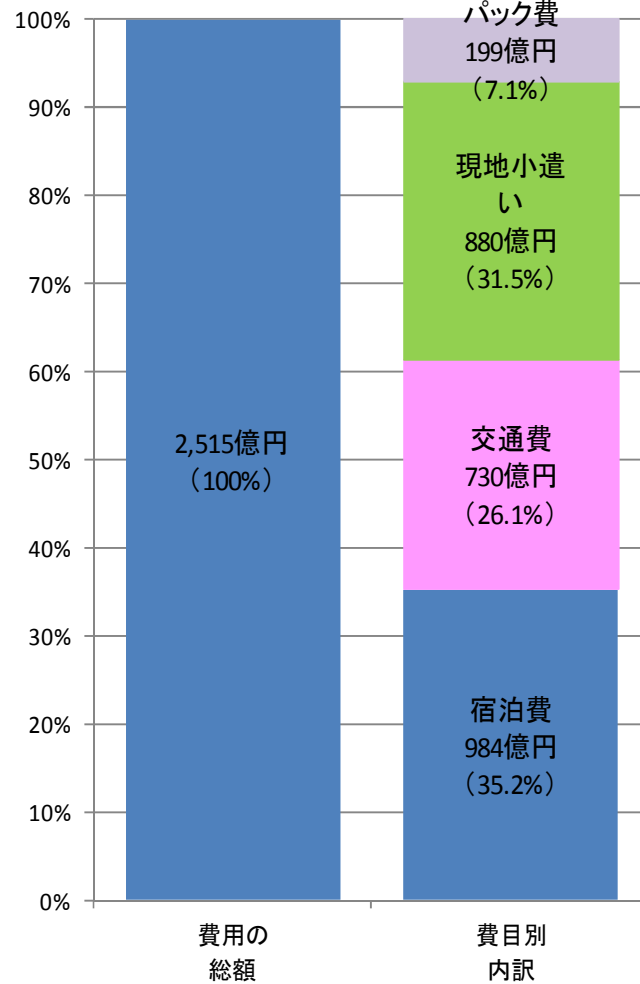
じゃらん宿泊旅行調査2015 (株)じゃらんリサーチセンター

■ 宿泊旅行1回あたりにかかった費用

※各県への旅行件数ベース ※ただし、全体の0.5%トリム平均



■ 長野県への宿泊旅行にかけられた費用の総額 (推計値)

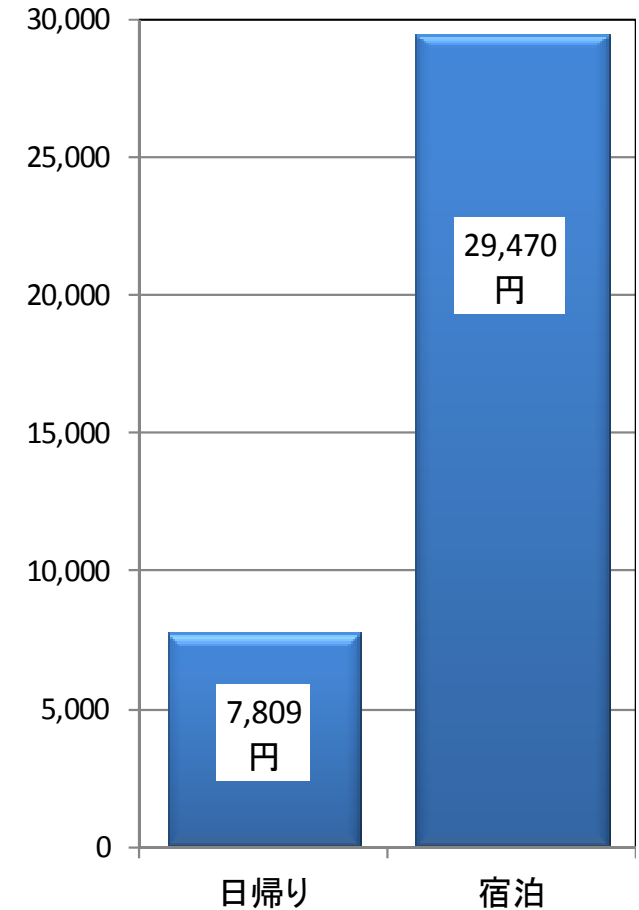


観光地点パラメータ調査2015 (長野県)

■ 旅行1回あたりの費用 (県内)

※パック料金含む

内容: 交通費、宿泊費、飲食費、土産代、入場料、その他



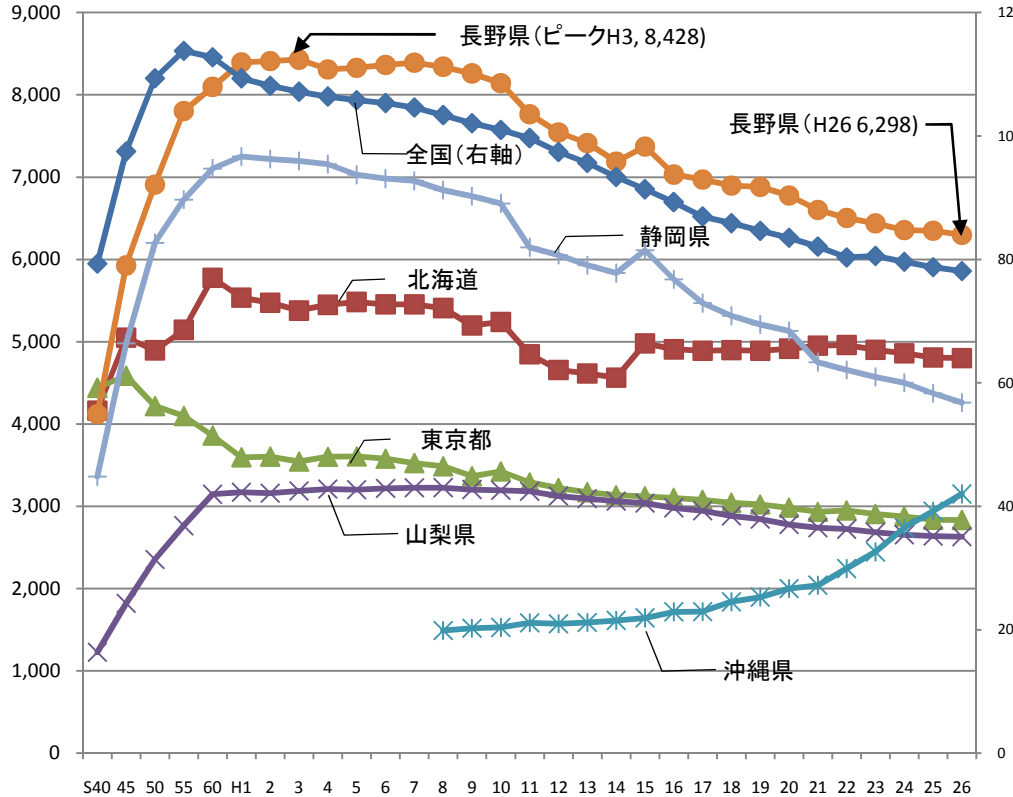
➤ 一人当たりの旅行費用は、じゃらん宿泊旅行調査において、全国平均を下回っている。

全国における長野県のポジション

宿泊施設数

■ 宿泊施設数上位5都道県の推移

※ホテル、旅館、簡易宿所の合計(下宿除く)
※平成8年以前は暦年

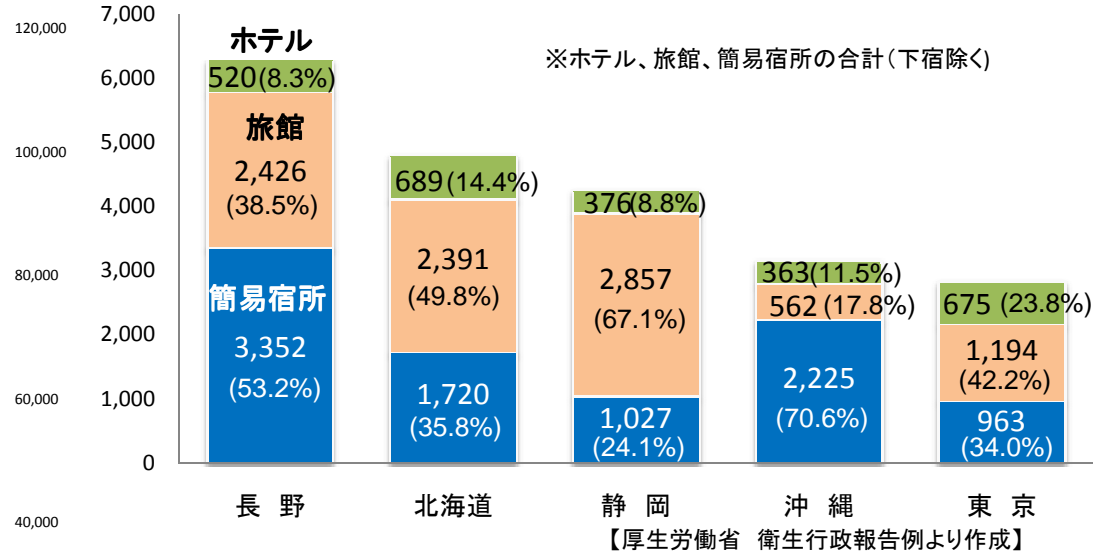


【厚生労働省 衛生行政報告例より作成】

- 全国的に施設数はS60以降減少傾向となっている。
- 上位の都道府県の中では、長野県は簡易宿泊所の比率が目立って高い。これは、民宿やペンションの数が多いことを示している。
- 長野県の推移では、全ての形態の施設数が減少傾向となっている。
- 割合では、簡易宿泊所の比率が相対的に増加している。

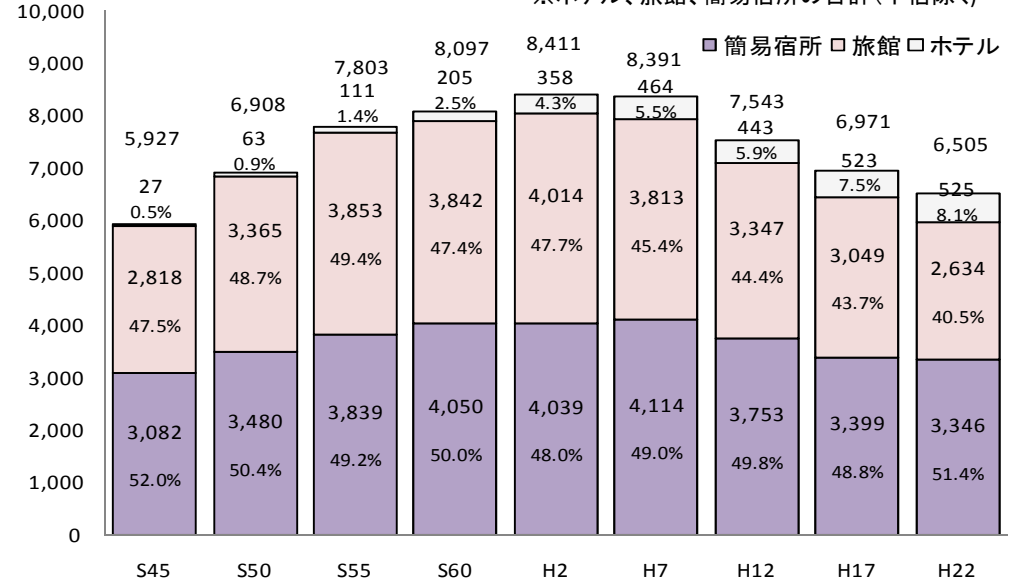
■ 施設数上位5都道県の種類別施設数(平成26年度)

※ホテル、旅館、簡易宿所の合計(下宿除く)



■ 長野県の種類別施設数推移

※ホテル、旅館、簡易宿所の合計(下宿除く)



【厚生労働省 衛生行政報告例より作成】